

新発田青少年健全育成市民会議だより

は ば た き

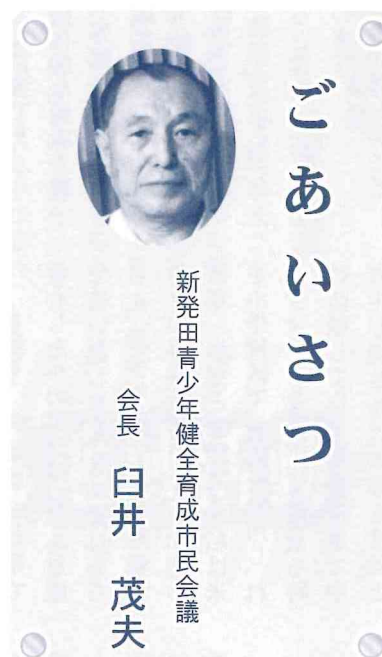
市民みんなで手をたずさえて

人と人とのかかわりを育てよう



挨拶を通しての心のふれあいは、まさに明るい家庭づくりの原点であり、ひいては地域における連帯感や子どもたちの社会性を育む重要な原動力にもなると思います。

昨今、学校、家庭、地域でのコミュニケーションのあり方が問われ、人間関係がしっくりしないことが大きな社会問題になっています。いわゆるネット社会、無縁社会、孤立社会と言われる現代社会において、地域や家庭、学校でどうしたら望ましい人間関係を樹立し、人の絆をしっかりと結ぶことができるか、日常の挨拶やコミュニケーションのあり方から問い直して見る必要があるからです。



ごあいさつ

新発田青少年健全育成市民会議

会長 臼井 茂夫



「地域の子どもは地域で育てよう」をモットーに、挨拶運動など子どもたちに積極的に声を掛け、色々な事業を通してかかわりを多くし、人と人とのつながりを密にすることが大事です。

地域における健全育成活動を一層推進するために、今年度、合併前の旧市町村からそれぞれ副会長を選出しました。各地域間の連携を強化し、情報交流やネットワークの更なる充実を図ることにより、全市的に活動が平均して拡充発展するように抜本的に施策を講じたいと思います。

青少年健全育成「市民一斉パトロール」のお知らせ

明日を担う青少年の健全育成のために、大勢の皆様のご協力をお願いします。

と き 11月3日(水・祝日) 午前9時30分～正午

- ・出発式 9時30分～10時 新発田駅前公園(小雨でも実施します。)
- ・パトロール等 10時30分～正午(中学校区毎)

パトロール等は、中学校区の活動となります。(別の日に行う地区もあります。)
～詳しくは、市民会議事務局またはお住まいの育成協議会へ～



どうぞよろしくお願いします。

地域活動充実のため今年度から
副会長四名体制になりました。

心を育てる試み

副会長 田村 光雄



「子どもの心を育てる」

言葉での表現は誠に簡単

であるが、その取り組みや推進は極めて難しい。さらに成果を評価する基準の問題も派生する。豊浦地区で青少年健全育成活動に関わって以来一年、市民会議の副会長も七年目になるが心を育てる難しさを感じる人が多い。

私は、地域での子どもたちの心を育てる試みとして教職時代の後半から「ふるさとかるた」の冊子等を作り続けて来た。

一昨年から豊浦地区協議会の全面的協力でかるたの実物作りに取り組み、一三〇セットが完成し、小中学校、保育園等で授業や遊びに活用されている。

原画描きやジャンボかるた作りをした多数の小中学生、ふるさと学習の授業やかかるた大会に

配慮、協力いただいた学校や公民館職員に感謝したい。

まさに「地域の中で、人と人が関わって子どもの心を育てる」活動となった感がある。

考える、実践する、出来るだけ大勢が関わって…子どもの心を育てる原点と信じて！

『いこころ』を育てる

副会長 高橋 大作



「健全な身体には、健全な精神が宿ること」が望ましい。

これは古代ローマの詩人ユウエナリスの有名な言葉です。

身体を鍛え肉体的な健康を維持することは、外観からも判断し易いので比較的容易だったようです。加えて、健全な精神『こころ』を併せ持つことが、(実際には難しかったようですが)とても大切であると言うことをこの詩は語っています。

ところで、私達は青少年にど

んな『こころ』を持って欲しいと望んで健全育成活動に取り組んでいるでしょうか。

自立心、向上心、探究心、道徳心、積極性、協調性、辛抱強さ、やさしさ等々、人それぞれの思いは違うかもしれません。

身体と違って、若い『こころ』は限りない可能性と柔軟性を持っています。少し欲張りですが、感受性の強い思春期に出来るだけ多くの出会いや活動を経験して、『こころ』の中に沢山の引き出しを持った大人に成長することを願っています。

笑顔は信頼の窓口

まずは挨拶から

副会長 鈴木 光子



笑顔で優しい声かけをすると、赤ちゃんと

安心したかのようにつづらな瞳で笑います。乳幼児はもちろん、青少年の子供達、地域の方々のみならず人と人が関わる第一歩だと思います。私は米子小学校区で、制服を着用し、れんぎょうパトロール出来る時に活動しています。畑仕事で中高生が通る時に挨拶をすると

「おはようございます」「さようなら」と元気に自然体で挨拶を交わしてくれそうです。声かけをしていく事で子供達に心が伝わり、嬉しさと喜びを感じる瞬間です。

また車にステッカーを貼り不審者が侵入しにくい抑止力になればと思っています。隊員の中には退職の方々が多く活動する人が限られるのですが、今年はお孫さんの入学を機に六名の方々が入隊してくださり、子供達を見守る制服姿が増えました。自分達の地域は自分達で守るという信念を持ち、見守りや声かけに誇りを持っています。

出来る人が出来る事をモットーに活動の姿を見せて行く事で地域の方々の理解が得られ安心安全の輪が広がればと思っています。

まちの子はみんなわが子

副会長 大川原 さとみ



私は「加治川地域子育てクラブ」を通して、新発田青少年健全育成市民会議の一員となつて活動しております。

「まちの子はみんなわが子」を合言葉に子どもたちの健全育成

を願って、地域ぐるみでボランティア活動をしています。今年で十二年目を迎えました。

発足した当時は、少子化や虐待が大きな社会問題となってきた頃でした。「一人で悩まず、楽しく子育てしようよ。」と、子育て中のママたち呼びかけました。集まったみんなが知恵を出し合って活動することで、親子のふれあいはもちろんのこと、親同士、子ども同士の交流も深まりました。若いママたちが子どもたちの笑顔のために、我々も他人の子も分け隔てなく声を掛け合っている姿にほほえましさを感じています。

今は、そうした若いママたちの応援団として、民生児童委員さんはじめ地域の方々にも会員になってもらい、ネットワークを広げています。

これからも、より多くのみなさまと活動を共にしながら、子どもたちの健やかな成長を見守っていきたいと考えております。



地域及び家庭の中で

加藤 清夫

近年子ども達をとりまく環境が厳しくなっております。携帯電話によるトラブル及び学校での色々な事件、そして自殺等々。そんな中で私達大人はどう向き合ってゆけばいいのか戸惑います。まずは地域において子ども達に声をかけること、また各地域活動に参加してもらい人との調和、自主性、協調性を養ってもらうこと。それによって子ども同士相手のことを思う心が育つてゆくものと思います。

私達大人も強く指導するだけでなく子ども目線で子どもの言うことを聞き一緒になって考えることが大事だと思います。

地域においてはもちろんのこと、家庭においても親から進んで挨拶をすることによって子ども達も少しずつ悩みを話す様になると思うんです。悪い事をした時は真剣になって説明をし良い事をした時は心から誉めてやる。そして人間は家族、友達、地域の人達に支えられて生きていくことを教えてゆくことが大事と思う。

とにかく子どもと真剣に向き合うこと。

(子ども会連合会会長)

自主通学の勧め

相馬 義雄

川東地区自治連合会では、平成二十年度から「中・高校生の自主通学の勧め」を活動方針のひとつに掲げて取り組んでおります。この言葉を初めて目にした方は、自分の学校に通学するのに何故？と首を傾げるのではないのでしょうか？川東地区では、数キロ離れた中学校、加治川を越えて市内の高校までの通学の多くは、父母や祖父母による家用車送迎に頼っているのが実情でした。これは公共交通であるバス運行の不便さも大きな要因ではありませんが、最も自主性を養う青少年期だからこそ「自主通学の勧め」を課題の一つに掲げました。まずは、地区の全家庭をはじめ、川東中学校、市内の全高校に理解を求める文書を配布し、特に川東中学校と、川東からの在校生が一番多く一番遠い距離にある新発田中央高校には、ご理解とご協力を求めて面談させていただきました。学校側からは生徒に直接ご指導いただく等、全面的なご協力が得られました。併せて、公共交通バスも利用し易いように運行時刻とルートの変更をしてもらいました。これまでの習慣を一朝一夕に変えるのは難しいでしょうが、地域の青少年の将来の為に、又より良い家族の絆を求めて「厳しい愛情」と信じ「自主通学の勧め」を継続してまいります。

(川東地区自治連合会会長)

人と人とのかかわりを育てる地域活動

学区全体の輪で見守り育てる

高橋 宏行

今年度は七月三日に『自然とふれあう一日』と題して、紫雲寺記念公園で学区内の幼児から高齢の方まで総勢一八〇名で愛島センタ―の見学や探鳥路の散策、昼食は和気藹々とB・B・Qを楽しみ、子供たちはアスレチックなどで遊び、普段できない体験と自然を満喫した一日を過ごせた事業となりました。

東豊小学校区は三、七三二世帯と大きな学校区ですが、中学校区が二つに分かれている市内では珍しい学校区です。その為、中学校区育成組織との連携や一体的な活動が難しい学校区でもあります。

近年は社会環境も変化し、近所付き合いも希薄になりつつある事は皆様もご承知の通りです。昔は当たり前でできていた事も、今では難しい事です。青少年全体を見守り育てる輪を構築する時、より多くの「人と人とのかかわり」が最も重要だと思います。育成協会の活動は、学校区全体が一体となつて活動する事ができる唯一の組織です。今後関係団体や組織の皆様が一層の協力をお願いし、より多くの皆様に参加していただける事業展開をしたいと思ひます。

(東豊学区青少年育成協議会会長)

絵本を通して

下村 昌子

メディア時代の昨今、生の声で絵本の楽しさを伝えたらと思ひ、読み聞かせボランティアをはじめていきます。

読み聞かせは大変地味なもので継続してこそ力を発揮する、そして聞き手の子どもの参加なくしては成り立たないものです。

子ども達自身の生きる力(話を聞き、考え、共感し、決断し、行動する)の参加を求めるものである。「おはようございます、これからはじめます」の声をかけるとみんなが集中し絵を見つめ物語を聞いています。どの子の目もキラキラ輝いています。

この子ども達は大人になるまで手にする本はどの位になるのか？読んだ絵本もその中の一冊になるかも知れません。

そんな事を思いつつ決して上手とは言えませんが、楽しんでもらったり感動したり出来る絵本を、これからも心をこめて読んで行きたいと考えています。

(民生委員長主任児童委員)



青少年健全育成市民大会を開催!!

7月24日(土) 新発田市生涯学習センター

来賓として、片山吉忠市長、市議会議長、教育委員の皆様をお迎えし、300人近い市民の方々の出席のもとに開催されました。

◇功労者表彰

- | | |
|---------------|--------|
| ・東豊学区青少年育成協議会 | 石井 辰吉様 |
| ・新発田市少年補導委員 | 大倉 繁良様 |
| ・新発田市健民少年団 | 齋藤 敏郎様 |
| ・新発田市子ども会連合会 | 永松 九子様 |

◇活動事例発表

- 豊浦地区青少年健全育成協議会
会長 渡邊 信明様
- ・「豊浦地区における青少年健全育成活動」
について

◇わたしの主張「市内発表会」

- ・市内5中学校生徒が、日常生活での体験や感懐を若者らしい感性をもって発表(別掲)



石井 辰吉様



大倉 繁良様



齋藤 敏郎様



永松 九子様



記念アトラクション 猿橋中学校吹奏楽部

中学生 わたしの主張 (要旨) ~市内5中学校~

KY

本丸中学校三年 関 友和

KYと言われたくないばかりに周りに合わせて流されていなか。協調性も大切だが、自分の考えを主張するのも大切。価値観の違いをKYと排除せず、理解する努力が人間関係を築く上で大切な。

夢に向かって

猿橋中学校三年 菊地 理子

何をするにも中途半端で何も信じられなくなっていた私は、「絢香」という歌手との出会いで夢を持ち、自分を変える事ができた。夢が私の希望であり、支えである。夢を持つことはとてもすばらしいことなのだ。

我が家の食育

川東中学校三年 佐野 小春

我が家の食育は、「作ってくれた人の真心に感謝し、食材の恵みに感謝して残さず食べる。」食を通して母から「人として大切なこと」を学んだ。学校だけでなく、家庭での食育も大切。

相手を思いやる気持ちと言葉

佐々木中学校三年 石井 知佳

私はこれまでの経験を生かし言葉で相手を元気づけ、支えになれるよう努力していきたい。また、一人一人が相手を思いやる気持ちを高めていく必要があると思う。

小さな努力で大きな変化を

紫雲寺中学校三年 丸山 梨香

昨年までは改善するべき点があるクラスでしたが、小さなことからきちんとすることでクラス全体も変わってきました。これからもこのクラスでよかったと思うようにがんばります。



～22年度の主な活動と予算等～

各世帯からいただいた会費をもとに、次のような活動と助成を行っています。

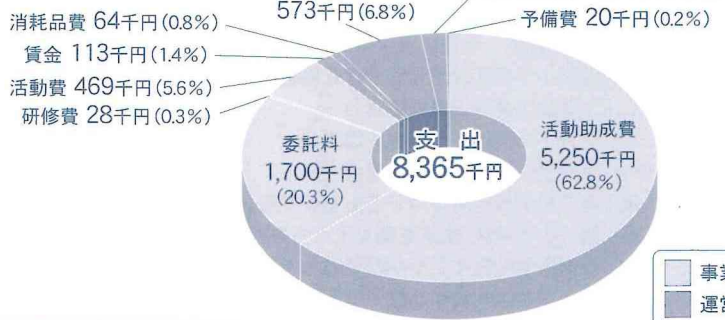
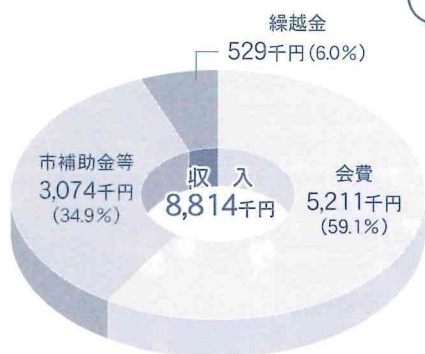
◇市民会議の主な活動

- ・市内大会(7/24)
- ・わくわく合宿(10/16～17)
- ・市民一斉パトロール(11/3)
- ・青少年はぐくみ環境懇談会(11/10)
- ・青少年健全育成講演会(1/22)
- ・広報「はばたき」の発行(年2回)

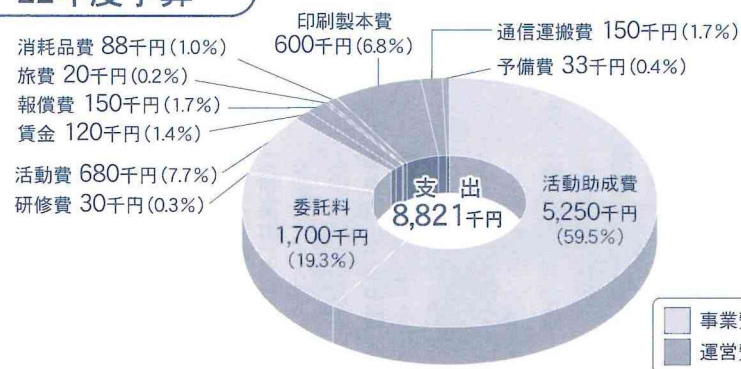
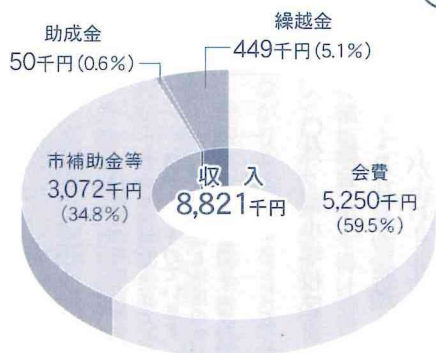
◇地区青少年健全育成組織・青少年育成団体等への助成

- ・クリーン作戦の実施(地域の清掃奉仕活動)
- ・健康ウォーク、野外レクリエーション、親子キャンプ等
- ・「あいさつ運動」の推進
- ※その他、各組織や団体で特色ある育成活動を展開しています。

21年度決算



22年度予算



平成22年度の活動助成費は次の団体に助成しました。

13地区青少年健全育成組織

組 織 名	助成金額(円)
外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会	317,000
御免町小・一中校区青少年健全育成会議	322,100
猿橋小学校区青少年健全育成協議会	398,000
二葉地区青少年育成協議会	247,100
住吉小学校区青少年育成協議会	273,100
東豊学区青少年育成協議会	345,000
東中学校区すこやか子どもを育てる会	367,000
川東地区自治連合会育成部	179,000
七葉中学校区すこやか育成会	245,100
さわやか佐々木っ子育成会	142,000

豊浦地区青少年健全育成協議会	316,200
紫雲寺地区青少年健全育成協議会	265,000
加治川地区青少年健全育成協議会	256,200

青少年育成団体等

組 織 名	助成金額(円)
市子ども会連合会	938,000
市健民少年団	211,400
市スポーツ少年団	228,800
ボーイスカウト新発田第1団	155,000
少年補導委員会	44,000

役職	氏名	選出区分等(専門委員会等役職)	役職	氏名	選出区分等(専門委員会等役職)
会長	白井 茂夫		理事	大沼 善和	七葉中学校区すこやか育成会
副会長	田村 光雄		"	五十嵐良一	さわやか佐々木っ子育成会
"	高橋 大作		"	後藤 政実	さわやか佐々木っ子育成会
"	鈴木 光子		"	渡邊 信明	豊浦地区青少年健全育成協議会
"	大川原さとみ		"	新井田 明	紫雲寺地区青少年健全育成協議会
常任理事	大森 睦夫	スポーツ少年団(少年団体活動推進委員会委員長)	"	佐藤 孝一	加治川地区青少年健全育成協議会
"	熊倉三喜男	ボーイスカウト新発田第1団	"	猿子 洋司	民生委員児童委員連合会
"	中村 直子	外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会	"	小池 完治	新発田地区少年輔導員等連絡会
"	皆川 美枝	豊浦地区青少年健全育成協議会	"	宮村 嘉吉	防犯組合
"	比企 広正	紫雲寺地区青少年健全育成協議会(地域活動推進委員会委員長)	"	内山 正人	新発田児童相談所
"	長谷川 清	加治川地区青少年健全育成協議会	"	濱田 浩彦	新発田警察署
"	丸山 正幸	少年輔導委員会(社会環境推進委員会委員長)	"	齊藤 光夫	自治会連合会
"	川上 克義	新発田保護司連絡会	"	相馬 義雄	自治会連合会
"	富樫 政晴	自治会連合会(組織強化推進委員会委員長)	"	渋谷 幸宏	小中学校PTA連合会
"	若月 学	学識経験者	"	湯浅 喜六	新発田地区交通安全協会新発田支部
"	佐藤 靖雄	学識経験者(編集委員長)	"	目黒 隆	小学校長会
"	関川 直	学識経験者	"	高橋 勝吾	中学校長会
理事	阿部 信	子ども会連合会	"	佐藤 一雄	高等学校長会
"	青山 武夫	健民少年団	"	澁谷 文子	市立保育園長会
"	宮崎 光衛	新発田地区緑の少年団育成会	"	伊藤 純子	私立保育園長会
"	浮島 一雄	御免町小・一中校区青少年健全育成会議	"	加藤 直美	市立幼稚園長会
"	松川 康男	猿橋小学校区青少年健全育成協議会	"	斎藤 孝正	私立幼稚園協議会
"	伊藤 正仁	二葉地区青少年育成協議会	"	近 弘子	住吉小学校区母親クラブ
"	田宮順一郎	住吉小学校区青少年育成協議会	"	美遠まゆみ	加治川地域子育てクラブ
"	高橋 宏行	東豊学区青少年育成協議会	"	石井 辰吉	学識経験者
"	松永 温	本丸中学校区明るい子どもを育てる会	"	渡辺 富子	学識経験者
"	木川 正直	第一中学校区「未来を築く子どもを育てる会」	"	金田 緑	学識経験者
"	小山 滋	猿橋中学校区すこやかな子どもを育てる会	"	青山 房子	学識経験者
"	千代 勝一	東中学校区すこやかな子どもを育てる会	"	木戸 秀子	学識経験者
"	本間真奈美	東中学校区すこやかな子どもを育てる会	"	外山 陽子	学識経験者
"	小林 茂穂	川東地区自治連合会育成部	監事	横坂 宣弘	
"	加藤 和幸	川東地区自治連合会育成部	"	南雲 悦子	
"	太田 勝	七葉中学校区すこやか育成会			

平成22年度

各育成協議会等の活動

13地区の育成協議会等が、それぞれの地域特性を生かして特色ある活動をすすめています。
本号では6地区の主な活動をお知らせし、他の7地区は次号で紹介いたします。

○外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会

- ・あいさつ運動、愛の一声運動、パトロール作戦
- ・(本町)教育懇談会、講演会、広報紙の発行
- ・(緑町)ゲートボール大会、クリスマスお楽しみ会、春休みお楽しみ会
- ・(大手町)なかよし花壇、会報の発行、環境点検
- ・(城北町)花火大会
- ・(新富町)クリーン作戦、交通安全指導、あいさつ運動
- ・(中央町)ブロック全体の活動
- ・(御免町小・一中校区)青少年健全育成会議

○御免町小・一中校区青少年健全育成会議

- ・あいさつ運動(老人クラブとの連携)
- ・あかるい地域づくり運動
- ・青少年育成会議と子ども会との協力運動
- (三世代交流の活動)

○猿橋小学校区青少年健全育成協議会

- ・地域子供会との懇談会
- ・健康ウォークぶどう狩り
- ・オータムフェスティバル
- ・広報紙の発行

○二葉地区青少年育成協議会

- ・おやじの会の後援(PTAキャン)
- ・講演会
- ・下校時街頭パトロール
- ・親子ふれあい活動
- ・広報の発行

○住吉小学校区青少年育成協議会

- ・研修講演会
- ・あいさつ運動
- ・交通安全、通学指導
- ・一年生おめでとう大会
- 東中学校区すこやかな子どもを育てる会
- ・愛の一声運動、防犯パトロールの実施
- ・広報の発行

あとがき

人と人とのつながりを育てることが、喫緊の課題です。
今号は地域での関わりを育てるための、貴重なご意見と実践例を寄せていただきました。
ありがとうございます。(佐藤)

編集委員

- 佐藤 靖雄 関川 直
- 猿子 洋司 渡辺 富子
- 金田 緑 青山 房子

発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号
電話 (0254)2610897